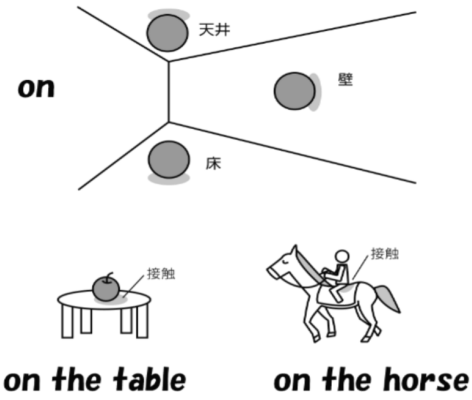
基本語力を鍛える

英語の前置詞

田中茂範（著）

ON の世界

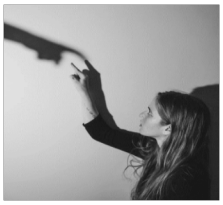
on って「上に」じゃないの？と思った人も多いでしょう。on を「上に」と訳しても問題はないという場合もありますが、「上に」という日本語にとらわれると、the shadow on the window のような表現が理解できなくなってしまいますね。「壁にかかっているはしご」も a ladder on the wall と表現します。「上に」だけでは理解できない on のコアはどのようなものでしょうか。



ずばり on のコアは「接触関係」を表します。リンゴがテーブルにある状況だ The apple is on the table.となり、馬に乗っている男性を指す場合も The man is on the horse.といいます。

面への接触

on は接触している場合にしか使いません。また、on は水平面への接触だけでなく、垂直面への接触でも可能です。ハエが壁に止まっている様子を a fly on the wall と表現するのがその例です。ここまで分かると、the shadow on the wall （壁の影）などは「面への接触」の例として理解することができますよね。



下の図では、屋根にソーラーパネルを設置していますが、ここでは下の図のように on がピッタリです。

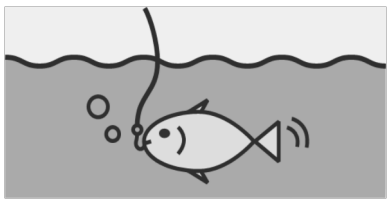
屋根にソーラーパネルを設置するに関する動画

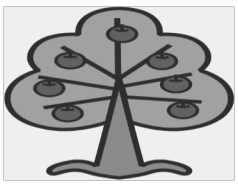
他の例も見ておきましょう。

- ✧ You have mud on your shoes.（靴に泥が付いているよ）
- ✧ He has a bump on the head.（彼は頭にたんこぶができている）
- ✧ Stand on one foot.（片足で立ちなさい）
- ✧ Stand on your hands.（逆立ちしなさい）
- ✧ Sleep on your back.（仰向けで寝なさい）
- ✧ Sleep on your stomach.（うつぶせで寝なさい）

点的接触

接触は面に対してではなく、点への接触にも on を使うことができます。例えば、釣り針にかかった魚を想像してみましょう。これは、Look! There's a fish is on the hook. （ほら、魚がかかったよ）と表現します。針にかかった魚、というのは面というより点的な接触ですね。また、There are a lot of apples on a tree.といえば「木になったリンゴ」ですが、木の枝にリンゴがぶらさがっている情景を思い浮かべることができます。

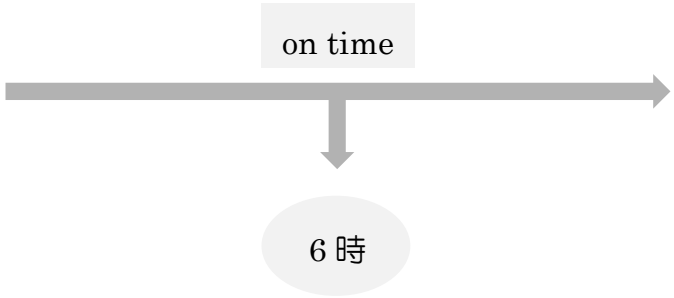




時間の ON

on は時間にも使います。時間は通常，「点」あるいは「幅のあるもの」として把握されます。そこで at 9 o'clock（9 時に）や in the morning（午前中に）などのように，at と in の時間との結びつきは理解しやすいですね。一方，例えば「誕生日」や「日曜日」というのは特定の日（カレンダー上で固定されている日）であり，そのことを示すのにもうひとつ基本前置詞である on が使われるのです。

時間に「接して」ということから「ピッタリ」だとか「特定した日時」などに使われます。「会議には時間通りにね」といいたければ Please be on time for the meeting.と言います。まさに、on time で時間に接してということです。



「クリスマスイブにパーティをやるんだ」という状況でもクリスマスイブは特定の日なので I'm having a party on Christmas Eve.と on を使います。12 月にだと in December ですが、12 月 1 日だと on December 1st となります。また、曜日は、特定の日なので on Monday のように on になります。

支えと連続性

水平面への接触は、「土台」や「何かにのっかかっている」「依存する」といった意味に展開します。「逆立ちする」は stand on one's hands とい

いますが、「手を土台にして立つ」ということです。We live on rice.（米を常食とする[米が食生活の基盤]）、や We're on schedule.（予定通りに）などは「のっかかっている」の例です。

一方、点的な接触がつながれば、電極の ON の意味合いが出てくるし、さらに途切れることのない「連続性」や「活動中」の意味が展開します。on guard（警戒中）や on duty（勤務中）などはその例です。He's been on and on about it. といえば「彼はそのことばかり話している」ということです。

onの世界に関する動画